

学年だより

日和田小学校 第5学年
学年だより 第5号
令和4年4月14日発行

拍手が起きました。

5年生になり、委員会活動が始まりました。昨日、昼の番組を報道委員会（昨年度までの放送委員会）の瞳聖くん（1組）と雪兎くん（2組）が放送しました。放送が終わり、2人が教室に戻ってくると、教室で自然と拍手が起きました。「放送、良かったよ。」という意味だったのだと思います。そういえば、先日も廊下で聞こえた言葉なのですが、「茉優さん（1組）、放送上手だったね」と、女の子が言っていました。教師が児童の活動に対し、称賛するのなら分かりますが、児童が友だちのがんばりを認めることができる、この学年は、やっぱり素晴らしい！！



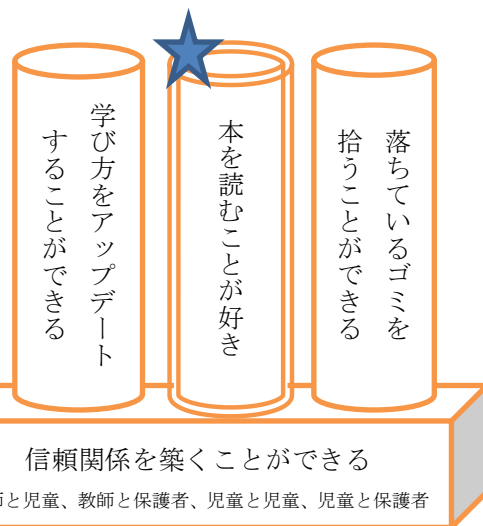
学年経営の方針 パート3

今号では、学年経営の方針 柱2「**本を読むことが好き**」についてお伝えいたします。まず、私がこれまで本を読んでこなかったことに対し、とても後悔しています。大人になり、子どもと一緒に週末に地域の図書館に行くようになってから、少し読むようになりましたが、子どもの頃からこの読書習慣が身についていれば、どんなに有意義が時間を過ごすことができていたかと思うと・・・だからこそ、自分が携えることができる子どもたちには「読書習慣」を身につけてほしいと思っています。そして、それが習慣になるには、「好き」になることがいちばんだと思います。

読書のメリットとして、様々な効果をあげることができます。これだけ、メリットがある活動を推奨しない理由はありません。例えば・・・

- 語彙力、文章力が養われる
- 教養や知識が身に付く
- 仕事に役立つ知恵を得られる
- 想像力が豊かになる
- コミュニケーション能力が高まる
- ストレス解消になる
- 時間を有意義に過ごせる

上の7つは <https://domani.shogakukan.co.jp/> より引用しました。



また、読書習慣を身につけるには、小学校という環境はベストだと思うのです。「国語の授業」「朝の読書」などと本を読む時間がある。「図書室」という様々なジャンルの本がある場所がある。「学校司書」という本のスペシャリストがいる。ぜひ、小学校時代にこの習慣を身につけることができるように、手立てを講じてまいりたいと思います。保護者の皆様からも、子どもたちが自然に本を取るようなよいアイデアがあれば教えていただきたいです。よろしくお願いします。

<保護者だより>
